

会 議 録

件 名	第3回宇治市特別職報酬等審議会
日 時	令和5年11月16日(木) 9:30~10:45
場 所	本庁舎 6階 602 会議室
出席者	各委員・事務局職員

【概要】

- 1 審議予定
- 2 審議等
 - (1) 資料説明について
 - (2) 京都府人事委員会勧告について
 - (3) 答申書(案)、意見書(案)について
- 3 その他事務連絡等

【内容】

- 1 審議予定について
審議予定について確認した。
- 2 審議等
以下について事務局より説明を行った。
 - (1) 資料説明について 資料1
 - ・お茶と宇治のまち歴史公園の管理経費収支状況について
 - (2) 京都府人事委員会勧告について 資料2
 - (3) 答申書(案)、意見書(案)について 資料3

(委員) 資料1について、お茶と宇治のまち歴史公園の収支状況をみると赤字となっているが、これは、宇治市が負担するのか、もしくは運営会社と折半するのか。

(事務局) 不可抗力によるものについては、宇治市の負担となる。開業年度は、新型コロナウイルス感染症による影響により、事業運営が厳しかったと思われるが、どこまでが不可抗力によるものかについて、現段階で合意に至っていない。

(委員) 黒字になった場合は折半するのか。

(事務局) しない。黒字部分については構成企業の利益になる。

(委員) 予定金額は構成企業が定めていると思うが、宇治市としてどこまで関与しているのか。ヒアリング等実施されたのか。

(事務局) 指定管理を行う企業の募集にあたってプロポーザルを実施した。その段階で、向こう数年分の予定金額が提示されており、その根拠・見通し等について審査が行われているかと思う。

(事務局) 入館者数は1万人いるにもかかわらず、ミュージアム利用料金は予定金額の10分の1、駐車場は予定金額の3分の1で疑問に思う。

また、赤字が生じたとしても企業負担になるような契約であれば、市としては問題ないかもしれないが、あまりに収支状況が厳しいと、今後の更新の際や途中でも辞退したいということがありえるのではないか。

(委員) 複数年での指定になっているので、原則指定期間中は続けてもらうことになる。

また、宇治市が新たに建てた施設なので、宇治市としてもイベント等含めここで実施できるようにしている。来年の大河ドラマでは紫式部がモデルとされるので、来年の3月から大河ドラマ展を開催するが、お茶と宇治のまち歴史公園の会議室を10か月貸切って行うことにしている。大河ドラマの人気度にもよるが、基本根強い層があるので、そういったところで来場者が見込めるのではないかと考えている。

- (事務局) なぜその期間か。もっと早く開催できないのか。
- (委員) ドラマで実際に使用される物の展示等もしたいと考えており、NHKとの調整も必要となり、ドラマの放映が始まってからの開催になる。市としても充実した展示となるよう検討しているところである。
- (委員) 最近海外からの観光客が増えているように思うが、どうか。
- (事務局) 増えていると思う。お茶と宇治のまち歴史公園の前では休日にいろいろなイベントをしながら誘客しているので、休みの日は一定人が来ているのではないと思う。
- (委員) 大河ドラマ展は国内の旅行者や中高年層がターゲットとなるが、外国人には、大河ドラマよりも「体験型」が好まれるのではないか。茶摘み、揉みこみ、茶葉にして持ち帰る、というようなパッケージにした体験型にすると、外国人の方には足を運んでもらいやすくなるのではと思う。
- (事務局) 歴史公園の隣には茶園があり、そこで茶摘み体験ができるようなパッケージはある。それを外国人向けにどう発信していくか、検討していきたい。いろいろなところで発信できるような工夫はしているところである。
- (委員) オーガニックが外国人には受けると思うので、例えば有機のお茶をメインに売り出すとよいのではないか。
- (事務局) 担当部局に伝える。
- (委員) お茶と宇治のまち歴史公園の周りにはぎわっているように思う。ただ使う側としては、駐車場代と施設利用料が高く、頻繁には使えないと思ってしまう。大河ドラマで一過性に終わるのではなくて、やはりもう少しイメージアップが図れるようなことができれば、と思う。
- (委員) 予算をたてる際の来館者数はどれくらいで予想をたてているのか。
- (事務局) 過去に源氏物語ミュージアムでイベントを行った際、12、3万人ほど年間来館があった。歴史公園についても同規模の来館を目指しており、約10万人で予想をたてているはず。最終的になぜこの予算額になったかは把握していない。
- (委員) 利用料金収入の資料をみると、入館者数は85,357人にもかかわらずミュージアムの収入が約490万円で、数字があっていないように見えるが。
- (事務局) 入館者数のうち、ミュージアムへの来館は11,687人であり、有料エリアへの入館はそのうちの一部であるため。
- (委員) ミュージアムの入館料金は。
- (事務局) 600円。
- (委員) 源氏物語ミュージアムは観光バスの乗り入れができるので、連動してもいいのでは。また、最近NHKの番組で宇治を取り上げていた。マスコミを取り込むレベルのPRができればいいのではと思う。
- (委員) 運営していくには民間の力がなくなかなか難しいのでは。仮に赤字が続いた場合、宇治市は今後どうかかわっていくのか。
- (事務局) 市の施設ではあるので、赤字にならないようにしたいところ。現在、紫式部ゆかりのまちというイメージから京都アニメーションにもご協力いただいております。高年齢だけでなくアニメ好きの中間層にも来てもらえるよう取り組んでいる。市のイベントでもお茶と宇治のまち歴史公園を利用し、収入を伸ばしたいと考えている。
- (委員) 館内の売店にしても品ぞろえに工夫ができるのではないか。マーケティングの観点からいろいろな集客方法やマスコミの利用方法が考えられると思う。
- (事務局) 担当部局に伝える。
- (委員) 答申書・意見書については事務局案で問題ないが、意見書の影響額試算には、特別職給料減額前の額も掲載すべきでは。
- (事務局) 掲載するように修正する。

3 その他事務連絡等

答申日程等の予定について確認した。

(審議終了)

